

回生 ニュース

K a i s e i N e w s

特定医療法人斎寿会回生病院

52号

2010.5月発行

発行/特定医療法人斎寿会回生病院

編集/鈴鹿回生病院

所在地/鈴鹿市国府町112番地1

TEL/059-375-1212

FAX/059-375-1717

URL/http://www.kaiseihp.com

編集協力/TCK Nagoya

- 1 医療の現場から
整形外科パート③脊椎外科
- 2 あなたの街のお医者さん
「樋口胃腸科・内科クリニック」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院専門外来担当医師一覧表
- 4 交通案内(三重交通バス・シャトルバス時刻表)
鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院附属クリニック専門外来担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「医食動源」
・疾患別シリーズ ～変形性股関節症～
・新ごぼうと季節の野菜3種かき揚げ丼
- 6 回生.com
「新入職員紹介」
- 7 Information
・新任Dr紹介他

第3回 桜 フォトコンテスト各部門受賞作品

みなさんからの御意見

- 毎年見えています。すごく楽しみでした。ありがとうございます。
- とても晴れやかな気持ちになりました。手術が終わったら、おばあちゃんにも見せてあげたいです。
- 皆さん色々な撮り方をしていて、見ていて楽しいですね!
- どの写真もとても素晴らしく、選ぶのがとても難しかったです。
- どれも素敵な作品で心が和みました。来年もぜひお願いします!



整形外科パート

③

脊椎外科

Orthopedic surgery



今号でパート3となる整形外科シリーズ。今回は脊椎外科についてお送りします。

当院で加療をしている脊椎（脊髄）の代表的な疾患は、腰では腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア。首では椎間板ヘルニア、後縦靱帯骨化症（靱帯が骨に変わってしまい脊髄を圧迫し、手足が動かなくなる病気）など、現在年間約80症例の脊椎手術を行っております。脊椎は難しい分野ですので、難症例については三重大学の笠井先生にお越しいただき、ご協力いただいております。

当院では、高齢者の腰部脊柱管狭窄症が一番多く、ついで椎間板ヘルニアです。ここでは腰部脊柱管狭窄症についてお話ししましょう。



左 三重大学脊椎外科医用工学講座
笠井 裕一教授

笠井教授を中心に脊椎チームを組んでさまざまな治療にあたっている。
月／1回 三重県下の脊椎外科専門医師が集結し、症例検討会も行っている。

ようぶせきちゅうかんきょうさくしゅう

腰部脊柱管狭窄症とは？

腰部の脊柱管が狭くなり、脊柱管の中を通っている神経が圧迫されることによって腰痛や足のしびれをおこす病気です。加齢が原因であるため60歳以上の方々に、多く発症する傾向にあります。

■ 症状

腰の病気というと「腰痛」が頭に浮かぶと思いますが、この病気は、足の症状、特にかんけつはこうに間欠跛行というのが特徴的です。これは、「歩くと足がしびれたり、痛みが強くなったり、あるいはこわばってきたりして休憩が必要となり、休憩後、それが楽になり再び歩くことができる」という症状です。この間欠跛行がひどくなると、歩行距離が段々短くなり、50～100mしか歩けない人たちもみえます。足の症状以外には、頻尿、尿もれ、便秘なども発症することもあります。ただ、前立腺肥大でも同じような症状がでるので、すべてが腰とは言えませんが、よくありがちなのが、前立腺肥大だと思っていたら、腰部脊柱管狭窄症だったということもあります。足の症状と排便排尿の症状が重なった場合は、腰部脊柱管狭窄症を疑ってみましょう。

■ 治療

最初から「すぐに手術をしなければならない」ということは決してありません。しばらく薬などの保存療法を行うのが一般的です。しかし、保存療法をしていても間欠跛行のため歩けなくなり、日常生活が段々と辛くなる場合、または筋力低下が出てくるような場合は、手術が必要となります。

一般的には、X線やCT、MRIで検査を行い、その人それぞれのライフスタイルにあわせて手術のタイミングをはかる



福島達樹医師

- ◆出身大学／三重大学医学部
- ◆専門分野／整形外科
- ◆資格認定
 - ・日本整形外科学会専門医
 - ・脊椎脊髄病医
 - ・脊椎脊髄外科指導医

ことになります。この春当院に導入された3.0テスラMRIは全脊椎の抽出が可能ですので、大活躍するでしょう。

この病気に限らず、慢性的な腰痛や下肢痛があって常に不安感があるという方は、ひとりで悩まずにお近くのかかりつけ医の先生に相談しましょう。当院はかかりつけ医の先生方と連携をとり、地域住民の期待に応えるべく治療のバックアップをさせていただきます。



連携医療機関紹介

樋口胃腸科・内科クリニック



樋口哲司先生

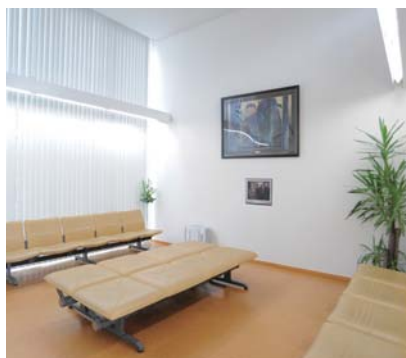


樋口哲也先生

親子で消化器専門医です。

樋口胃腸科内科クリニックは、白子町信号交差点を100メートルあまり北上したところにあります。

理事長の樋口哲司先生は、昭和31年（1956年）に三重大学をご卒業後、県立志摩病院、大台厚生病院にて勤務され昭和42年（1977年）にこの地に開業されました。当時はこの近辺にはクリニックはなく、地域の方にとっては貴重なクリニックで、一日平均200人程の患者さんが訪れたそうです。医師を目指されたきっかけはご尊母さまが心臓病を患われていたことからなのだと。現在の医療であればもっと長生きをしてもらえたと、当時を振り返り感慨深い表情を浮かべられました。



消化器外科がご専門の理事長。「ちょうど私が医者になった頃に胃カメラが普及しましてね」と、当時はまだ珍しい胃カメラの検査や、胃の手術をメインに行っておられたそうです。「大腸内視鏡は息子が技術を習得してきましたので、現在当院では胃内視鏡、大腸内視鏡ともに対応しております。当時は有床診療所だったこともあり、救急車で運ばれてくる患者さんも多く、交通事故や外傷、工場などで起きた事故、腕を切断された患者さんまで何でも診ていました。『私は消化器が専門なのでそれ以外は診られません』という時代ではありませんでしたからね（笑）現在は、体力的にも厳しくなりましたので病床を無くし、私は午前だけの診療で、あとは息子にほとんどを任せています」。

現在、理事長、院長、看護師4名、事務員4名の10人体制で診療を行っています。

小回りのきく診療所

ご子息の樋口哲也先生は昭和61年（1986年）に藤田保健衛生大学をご卒業後、高山久美愛病院、聖隷三方原病院、鈴鹿中央総合病院にて勤務医をご経験後、平成12年6月より、消化器内科専門医として診療に加わりました。大きな病院で勤務されていた先生に、診療所のメリットを伺いました。「大病院には大病院の、診療所には診療所の役割があると思っています。例えば検査。大きな病院では検査待ちにしばらくかかる場合もありますが、診療所ではすぐに検査ができます。では重病の場合はどうでしょう。大病院に任せたほうがよい場合もあります。私たち開業医は、診療所ならではの小回りのきくメリットを生かして、診療にあたっています。お体のことで心配なことがありましたら、まず、診療所にかかっていただき、我々に対応できる病気は当院で診させていただきます。当院で難しいと判断した場合は、回生病院さんや鈴鹿中央総合病院さんな

DATA

TEL 059-386-2012

住所

鈴鹿市白子町59番地

診療科目

●内科●胃腸科●消化器科

診療時間

午前／9時00分～12時00分

午後／3時00分～6時30分

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	○	○	×	○	×	×

休診日

木曜午後、土曜午後、日曜、祝日



どの大きな病院に紹介させていただいております。健康は何にもかえられません。体のメンテナンスのお手伝いを僕らができればと思っておりますので、何かありましたらご相談ください」と院長先生。小回りのきく診療所として、ご活躍されることでしょう。

二科賞受賞作品



大学時代から写真をとることが趣味だとおっしゃる理事長。「第57年回二科会写真部展」で年に1回の最高賞である「二科賞」を受賞されました。



診療支援課
松井 利恵

4月より医療連携室に配属となりました。まだまだ分からないことばかりで不安でいっぱいですが、新しい仕事に緊張を持ち、今まで社会人として学んだ経験を活かしながらひとつひとつ身につけて頑張りたいと思います。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



リハビリテーション課
坂 尚樹

私の出身が鈴鹿市ということもあり、地元の鈴鹿回生病院で作業療法士として働かせていただくことに喜びを感じます。諸先輩方のご指導のもと、しっかり仕事を覚え、一日も早く患者さんのために良い治療ができるよう努力し、地域医療に貢献できるよう頑張ります。



リハビリテーション課
太田 裕介

志摩市から来ました田舎者です。子どもの頃から身体を動かすことが大好きで、小学校から野球やサッカー、テニスなどここでは紹介しきれないほど多くのスポーツを経験してきました。この経験をリハビリテーションで活かすことができればと考えています。精一杯頑張っていきますので、ご指導のほど、よろしくお願いします。



看護部
寺田 麻美

4月より看護師として5A病棟に配属となりました。新しい環境、出会う患者さんとのコミュニケーションなど不安なこと多いですが、精一杯頑張っていきたいと思っています。いろいろなことをたくさん吸収し、早く先輩看護師さんになりたいと思います。これからもご指導よろしくお願い致します。



看護部
三浦 あゆ美

4月より看護師として6B病棟に配属になりました。夢であった看護師として働けることとなり支えてくださった皆さんに感謝しています。新しい環境で不安がいっぱいですが、周りのスタッフや先輩方に丁寧に指導していただいているので少しずつ成長し安心して安全な看護ができるよう、精一杯頑張りたいと思います。ご指導よろしくお願いします。



薬剤管理課
寺尾 麻希

4月より薬剤管理課に配属になりました。鈴鹿回生病院で薬剤師として働けることをたいへん嬉しく思っております。患者さんと職員皆さんをはじめ、さまざまな方とのコミュニケーションを大切にし、笑顔と努力を惜みず頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

疾患別シリーズ ～変形性股関節症～

変形性股関節症は、原因不明のものもありますが、日本人の多くは先天性股関節脱臼や、臼蓋形成不全に由来するものがほとんどです。関節軟骨の摩耗や変性に伴い、関節のすき間が狭くなり、股関節の動きが悪くなったり、次第に痛みが強くなり、筋力も弱くなります。こうなる前に、筋

力をつけて予防をしましょう。

股関節に痛みがある時は、ひざの間にクッションをはさむ。



うつ伏せで右手と左足、左手と右足を対にしてあげる。足だけでも可。



お尻を床から浮かせる。



ひざをできるだけ伸ばし、つま先は、手前に曲げる。



リハビリテーション課
理学療法士
齊藤 裕子

Point

- ①各体操は、5秒間保持し、5秒間、休みましょう。
- ②1度に20回程度、行いましょう。
- ③痛みが出る場合は中止しましょう。

発信@

栄養管理室

管理栄養士
堀川真由美



●新ごぼう

ごぼうには5～6月と10～12月に旬があります。5～6月に出来る新ごぼうは繊維が軟らかく、香りが強いのが特徴です。

ごぼうは食物繊維の多い野菜の代表格で、100g中の食物繊維量は同じ根菜類であるれんこんの2.8倍も含まれています。食物繊維には水溶性のものと不溶性のものが、水溶性食物繊維を多く含む食材は少ないですが、ごぼうにはその両方が多く含まれています。ごぼうに含まれる水溶性食物繊維の一種であるイヌリンは、ビフィズス菌などの善玉菌のえさとなって腸内環境を整え、健康の維持増進に役立つ物質(=プレバイオティクス)として認められています。また、食後の血糖値の急上昇を防いだり血中の中性脂肪を下げたりする働きもあると言われています。

●他の食材との組み合わせ

もともと腸内には善玉菌が生息し、プレバイオティクスを摂ることによって増殖が促進されますが、ヨーグルトや乳酸菌飲料など生きたまま善玉菌が腸まで届く製品(=プロバイオティクス)を共に摂るとより効果的です。今回組み合わせた大豆にもプレバイオティクスであるオリゴ糖が含まれています。

(*プロバイオティクス:生きたまま腸まで届き、人にとって良い作用を発揮する微生物を含む製品)

ピックアップ食材 ごぼう

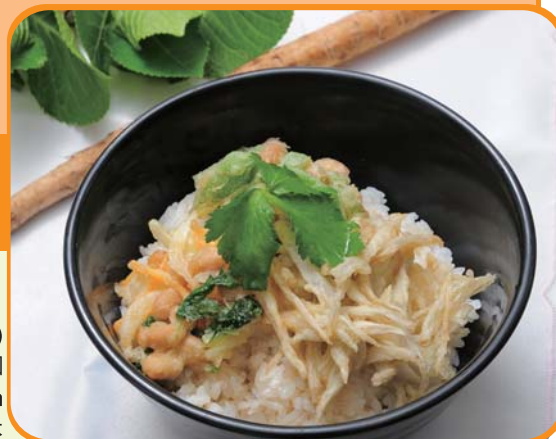
新ごぼうと季節の野菜 3種かき揚げ丼

【材料】4人分

a	新ゴボウ	1本 (120g)
	新たまねぎ	1/2個
b	人参	3cm
	みつば	2本
	大豆水煮	40g
	スナップエンドウ	8さや
c	大豆水煮	40g
	小麦粉 (材料にまぶす)	適量
	小麦粉	80g
A	ベーキングパウダー	小さじ2
	冷水	100cc
	揚げ油	適量
	だし汁	150cc
たれ	濃口しょうゆ	大さじ3
	みりん	大さじ3
	砂糖	大さじ1
	ごはん	1人250g

【栄養成分】1人分

エネルギー	670kcal
たんぱく質	11.4g
脂質	12.1g
塩分	1.6g
食物繊維	4.4g



【作り方】

- ①ごぼうは包丁の背で皮をこそげ、千切りにしてすぐに酢水に漬ける
- ②たまねぎ・人参は千切りにする みつばは葉の部分を切り取る
- ③スナップエンドウは筋を取り、ななめに切る
- ④a、b、cをそれぞれボールに入れ、薄く小麦粉をまぶす
- ⑤Aを混ぜ合わせる
- ⑥④の材料に⑤を分けて入れ、合わせる
- ⑦170～180℃の油で揚げる
- ⑧たれの材料を鍋に入れ、一煮立ちさせる
- ⑨どんぶりにごはん、かき揚げを盛り付け、上からたれをかける

坂倉院長マスタース大会新記録！

2月28日(日) 鈴鹿スポーツガーデンにて第29回 JSCA東海マスタースイミングフェスティバルが行われました。このフェスティバルにおいて当クリニック院長の坂倉康夫先生が75歳～79歳部門「自由形16秒16／背泳ぎ19秒87」という好タイムで優勝しました。このタイムは大会新記録です。



最新鋭3.0T-MRIを導入！！

4月5日(月)、鈴鹿市、亀山市の両市長をはじめ関係者の皆さんをお迎えし内覧会を開催しました。当日は、田中院長により3.0T(テスラ)MRIの優れた性能やその運用方法等の説明が行われ、実際の装置の見学を行いました。北勢地域初導入となる3.0T(テスラ)MRIは4月より順調に撮影を開始しています。両市からは地域の皆さんの救急医療等に大きな力となることが期待されています。



第6回健康セミナー 開催

6月26日(土)13時半～、研修医棟3階にて健康セミナーを開催します。テーマは内臓脂肪。浜松大学教授 田中誠一先生による講話や体操実技もあり。皆さんお誘いあわせの上、ぜひご参加ください！

講話内容

- ・脂肪細胞の働き(健康管理センター長 千田 豊)
- ・内臓脂肪肥満と運動の効果(田中 誠一教授)

参加費無料

*他、簡易骨密度測定、食品展示等。詳細は院内の配布資料をご参照下さい。

編集後記

今回は「整形外科パート③脊椎外科」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。

鈴鹿回生病院 広報委員会
〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地
TEL059-375-1212
mailto:mailinfo@kaiseihp.com

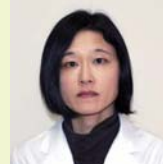
病院のボランティアの方に毎週美しく生けていただいております。(病院文庫)



今号の

お知らせ

健康管理センター



川口 香
(カワグチカオル)
出身大学 三重大学
平成2年卒
専門分野 婦人科

呼吸器外科



石田 順造
(イシダジュンゾウ)
出身大学 東京医科大学
平成8年卒
専門分野 呼吸器外科

麻酔科



大江 公晴
(オオエコウセイ)
出身大学 富山医科薬科大学
平成8年卒
専門分野 麻酔科

整形外科



宮崎 晋一
(ミヤザキシニイチ)
出身大学 三重大学
平成10年卒
専門分野 整形外科

脳神経外科



濱田 和秀
(ハマダカズヒデ)
出身大学 三重大学
平成14年卒
専門分野 脳神経外科

内科



南 博仁
(ミナミヒロヒト)
出身大学 近畿大学
平成18年卒
専門分野 血液内科

後期臨床研修医



金丸 英樹
(カナマルヒデキ)
出身大学 横浜市立大学
平成20年卒
専門分野 脳神経外科

開設の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として皆さんの医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 患者さんの生命と個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し 患者さん中心の医療を行います
- ▶ 医療の質を向上させ 時代の要請する医療水準を保ちます

私たちの目標

- ▶ 誰もが適切な医療を平等に受けられるようにします
- ▶ 診療内容・医療情報を適切に説明し 患者さんが最適な医療を選択できるようにします
- ▶ 医療環境を整備し 快適に診療が受けられるようにします